議会だより

鳴門市
NARUTO CITY

発行／鳴　門　市　議　会
編集／議　会　広　報　委　員　会
発刊／2026年（令和8年）9月1日
https://www.city.naruto.lg.jp/gikai/

目　次

令和８年第２回定例会の議決結果　②
人事案件　②
委員会審査　③～④
一般質問　④～⑬
議員表彰、令和８年第２回臨時会　⑭
鳴門高校表紙制作　⑮
令和８年第３回定例会の予定、ご意見箱　⑯

若者に市政をより身近に感じてもらうことを目的とした、市内高校による表紙制作も今年で４年目!!

鳴門高生が創る 学校のあたらしい夏
～夏用ポロシャツ導入プロジェクト～

〈関連記事を15ページに掲載〉

生徒総会で夏用ポロシャツを作りたいという提案が出されました。
全校生徒、保護者や地域の皆様のご意見をいただきながら、
愛される制服をめざします！
文化祭（９月３日）で試作品の展示、投票を行います。
ご来場お待ちしております!!

No.136

《 令和８年 第２回定例会の議決結果 》

議案番号	案　　件	議決結果	所管の委員会
議案第42号	専決処分の承認について（令和７年度鳴門市一般会計補正予算（第９号））	承　認	予算決算
議案第45号	令和８年度鳴門市一般会計補正予算（第１号）	原案可決	
議案第43号	専決処分の承認について（鳴門市特別職指定条例及び鳴門市職員諸給与条例の一部改正について）	承　認	総務文教
議案第44号	専決処分の承認について（鳴門市税賦課徴収条例の一部改正について）		
議案第46号	鳴門市附属機関設置条例の一部改正について	原案可決	
議案第47号	鳴門市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について		
議案第49号	財産の取得について		
議案第48号	鳴門市印鑑条例及び鳴門市手数料徴収条例の一部改正について	原案可決	生活福祉
議案第50号	工事請負契約の締結について（し尿処理施設硝化脱窒素槽修繕工事）		
議案第51号	工事請負契約の締結について（ごみ焼却施設設備修繕工事）		
報告第３号	継続費繰越計算書について（令和７年度鳴門市一般会計予算）	報　告	予算決算
報告第４号	繰越明許費繰越計算書について（令和７年度鳴門市一般会計予算）		
報告第５号	事故繰越し繰越計算書について（令和７年度鳴門市一般会計予算）		
報告第６号	繰越計算書について（令和７年度鳴門市水道事業会計予算）		
報告第７号	繰越計算書について（令和７年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算）		
報告第８号	繰越計算書について（令和７年度鳴門市下水道事業会計予算）		
報告第９号	弾力条項の適用について（令和７年度鳴門市モーターボート競走事業会計）		
報告第10号	鳴門市新型インフルエンザ等対策行動計画の変更について		総務文教
報告第11号	専決処分について（損害賠償の額の決定）		産業建設
同意第３号	固定資産評価員の選任について	同　意	
同意第４号	農業委員会委員の任命について		

人事案件

●固定資産評価員　中島（なかしま）　晃平（こうへい）　氏（撫養町）

●農業委員会委員

沖野（おきの）　泰宏（やすひろ）　氏（大津町）
増金（ますかね）　武夫（たけお）　氏（大津町）
石園（いしぞの）　順市（じゅんいち）　氏（大麻町）
長谷川（はせがわ）　マチ子（まちこ）　氏（大麻町）
向（むかい）　栄治（えいじ）　氏（鳴門町）
福田（ふくだ）　正幸（まさゆき）　氏（大麻町）
藤岡（ふじおか）　公美子（くみこ）　氏（里浦町）
齋藤（さいとう）　崇顕（たかあき）　氏（大津町）
前川（まえがわ）　智久（ともひさ）　氏（大津町）
西川（にしかわ）　美鈴（みすず）　氏（大麻町）
宮本（みやもと）　正一（しょういち）　氏（大麻町）
小川（おがわ）　佳（よしみ）　氏（瀬戸町）
竹村（たけむら）　昇（のぼる）　氏（大麻町）
中井（なかい）　弘（ひろむ）　氏（里浦町）
粟田（あわた）　和美（かずみ）　氏（大津町）
杉本（すぎもと）　英昭（ひであき）　氏（大津町）
小林（こばやし）　幸男（ゆきお）　氏（大麻町）
稲木（いなぎ）　伸顕（のぶあき）　氏（撫養町）
大西（おおにし）　善郎（よしろう）　氏（北灘町）
林（はやし）　博子（ひろこ）　氏（里浦町）

総務文教委員会

●議案第46号 鳴門市附属機関設置条例の一部改正について

本市のまちづくりの方向性やデザインに関する政策的な条例である「9＋1条例」の制定について調査・審議する附属機関を新たに設置することから、所要の改正を行うもの。

【質疑】現時点で想定される審議会の設置予定数は。

【答弁】令和8年度は若者の活躍などを推進する若者条例、カスタマーハラスメント対策の条例、児童生徒の学力向上に関する学力向上条例の3つの条例制定に向けての審議会設置を想定しているが、既存の審議会などで対応する可能性も考え得る。

【質疑】各審議会の委員数は何人を想定しているのか。また、県外から各審議会に出席する委員がいる場合、報酬以外に旅費などの予算を計上しているのか。

【答弁】各審議会の委員は15人を上限とし、基本は8人程度を想定している。県外からの出席委員は現時点では想定しておらず、予算措置はしていない。

生活福祉委員会

●議案第51号 工事請負契約の締結について（ごみ焼却施設設備修繕工事）

令和7年第4回定例会で修繕材料の取得について議決したクリーンセンター1号炉の設備修繕工事に係る請負契約の締結にあたり、地方自治法第96条第1項第5号および鳴門市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

【質疑】費用の内訳は。

【答弁】設備の修繕費用はそれぞれ、二次燃焼室が3564万5000円、白煙防止用空気余熱器が3636万6200円、連絡ダクトが1518万3200円。加えて、修繕のため屋根を切り開く工事などが2610万円、重機のレンタル関連が1363万円、その他諸経費として工事に係る人員の法定福利費など諸経費が3038万1000円であり、消費税を含め1億7303万円である。

【質疑】2号炉修繕時における可燃ごみの県外搬出実績は。

【答弁】令和7年度に修繕のため2号炉を休炉した際に処理できない可燃ごみを場外搬出しており、令和7年12月1日から令和8年3月13日までに、10トントラック累計185台に合計およそ1284トンのごみを積載し搬出した。

【要望】2号炉修繕時と同じく市民から苦情などが出ないよう運用を考えてほしい。

予算決算委員会

●議案第45号
令和8年度鳴門市一般会計補正予算（第1号）

省エネ家電買換え促進事業補助金や小規模企業者等事業継続緊急支援事業など、物価やエネルギー価格の高騰への支援のほか、道の駅「くるくる　なると」を核とした周辺エリアの活用に向けた可能性調査検討業務をはじめとする市の将来を見据えた重要施策に係る予算を編成するもの。

【質疑】省エネ家電買換え促進事業補助金の概要は。
【答弁】省エネ基準達成100％以上のエアコンまたは冷蔵庫に買い換えた場合1世帯どちらか1台に限り補助する。補助率は購入金額の2分の1、補助額は、市内に本店がある店舗で購入した場合上限5万円、市外に本店がある店舗で購入した場合上限3万円。予算額は2500万円で先着順。

【質疑】事業者などへの物価高騰対応支援事業は申請制か。
【答弁】運送事業者および小規模企業者等の事業継続緊急支援事業は各事業者からの申請、農業物価高騰緊急対策事業は農業者からの申請、水産業燃油価格高騰緊急対策事業は漁協を通じて申請する形をそれぞれ想定している。

一般質問

代表質問

❶梶　達矢（会派　なると未来）

1. 人を育てる鳴門について
(1) 市長が考える人材育成と若者育成について
(2) 農業・商工業の担い手確保と若者の挑戦支援について
(3) 学校と地域の連携による人材育成について

2. 地域の特性を生かしたまちづくりについて
(1) 地域ごとの特色を生かしたまちづくりについて
(2) 地域主体のまちづくりについて

3. 持続可能な地域づくりについて
(1) 人口減少社会における地域の担い手対策について
(2) 次世代へ引き継ぐ持続可能なまちづくりについて

❷宅川　靖次（会派　新・令和なると）

1. 福祉行政について
(1) 高齢者の補聴器購入に対する支援について
(2) 介護保険制度について

2. 鳴門地方卸売市場について
(1) 鳴門地方卸売市場の事業継続について

❸岡　香名芽（会派　創心クラブ）

1. 市長の政治姿勢について
(1) 観光施策について
(2) 人口減少対策について

2. 教育行政について
(1) 誰一人取り残さない学習支援について

❹藤田　茂男（会派　潮）

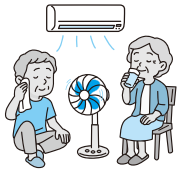
1. 市長の政治姿勢について
(1) 公共施設に伴う将来的な財政負担について
(2) 企業誘致の推進について

2. スポーツ行政について
(1) 新スポーツ施設の建設場所について

❺前田ナツ子（会派　公明党）

1. 市長の政治姿勢について
(1) 生命の安全教育について

2. 健康福祉行政について
(1) 熱中症対策について
(2) 糖尿病対策について



❻三津　良裕（会派　鳴光会）

1. 市長の政治姿勢について
(1) 徳島・和歌山間の南海フェリー事業撤退について
(2) 国土交通省策定の道路啓開計画について

2. 交通行政について
(1) 鳴門市への空路交通アクセスについて
(2) 高齢者等の交通手段の確保について

会派
なると未来
梶（かじ）　達矢（たつや）

動画はこちら

地域の魅力を生かした持続可能な鳴門の実現

問 まちづくりの原点は人づくりである。制度や施設だけではなく、地域に関心を持ち、地域を支え、地域の未来を考える人を育てることが重要である。

また、市の各地域には歴史・文化・自然・産業など特色ある地域資源とともに、人と人とのつながりという大切な地域資源がある。

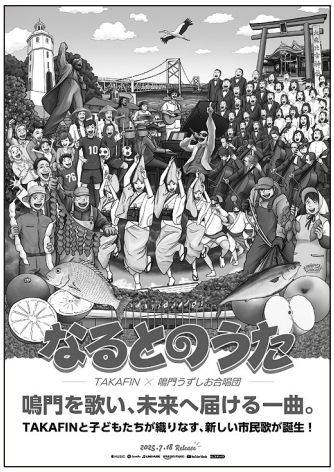
こうした地域の魅力を生かしながら、若者が挑戦できる環境づくりや担い手確保の取り組みは。

答 人口減少社会においては、地域に愛着や誇りを持ち、まちづくりに主体的に参画する人材である活動人口の拡大が持続可能な地域づくりに重要である。若者の挑戦を応援し、地域の魅力や価値の再発見につなげるインナープロモーションの推進などを通して、若者のシビックプライドの醸成と活動人口の拡大を一体的に進める。

また、関係人口を通じた担い手確保の取り組みが評価され、ふるさと住民登録制度のモデル事業の対象自治体として選定されたことを契機に、地域外の関係人口を市内事業者の担い手として活用する仕組みづくりなど、地域産業の担い手確保に取り組む。

要望 市内参加型プロジェクト「なるとのうた」に参加されている鳴門市出身の中学生アーティストＡＮ―ＫＵＮ氏のような身近なロールモデルの存在は、子どもたちが夢や目標を持つきっかけとなり、キャリア教育や郷土愛の醸成にもつながる。人を育てることが地域を育てることにつながり、それが将来の鳴門を支える力になる。

今後も市民とともに、人を育て、地域の特性を活かす、持続可能な鳴門の実現に向けて取り組んでいただきたい。



会派
新・令和なると
宅川（たくかわ）　靖次（やすじ）

動画はこちら

高齢者の補聴器購入補助制度の導入

問 高齢者が補聴器を購入する際、費用を補助する制度を導入してはどうか。

答 近年の物価高騰の状況なども踏まえ、住み慣れた地域で、いきいきと元気に暮らし続けていただくためには、速やかな支援の実施が必要である。

令和８年度中を目途に補聴器購入補助制度創設に向けて取り組む。

地域包括支援センターへの支援体制の充実

問 地域包括支援センターの役割が重要となるなかで、周知啓発などの方法は。

答 事業内容を掲載したパンフレットを活用し、まちづくり出前講座やＳＮＳでの情報発信などにより周知啓発を行っているほか、各地域包括支援センターにおける家族介護教室などを継続して行うことにより、地域とのつながりを深めている。今後も各地域包括支援センターとの連携を強化し、支援体制の充実を図っていく。

鳴門地方卸売市場への事業継続支援

問 鳴門地方卸売市場の事業継続に向けた市の支援について。

答 民営化後の鳴門地方卸売市場について、来場者数は年々増加している状況である。市としても地産地消の推進のための重要な施設であると認識しており、活性化のための支援を行う。具体的には、地産地消の推進を目的として制度化している鳴門市地産地消推進補助金において地方卸売市場の施設整備に対する支援のための予算を令和８年度当初予算で新たに計上しており、老朽化が進んでいる施設を計画的に更新するための経費を補助することにより、事業継続に向けた支援を行う。

会派
創心クラブ
岡　香名芽（おか　かなめ）

動画はこちら

通過型観光から滞在型観光へ

問 本市の観光は、渦潮をはじめとする豊かな地域資源を有しながらも、来訪者の滞在時間が短く、市内消費や暮らしへの波及が十分とは言えない。大型連休の入り込み状況と要因分析、通過型観光から滞在・消費につながる観光への転換策は。

また、大鳴門橋自転車道の完成を見据え、橋を渡って来る人を鳴門公園だけでなく市内各地へ回遊させるためのルート整備、案内サイン、休憩・自転車整備スポット、レンタサイクルなどの受入れ体制は。

答 大型連休は悪天候により屋外施設が影響を受けた一方で、屋内施設は昨年を大きく上回る施設もあり、宿泊は市内主要施設でほぼ満室であった。また、通過型観光からの転換に向け、ナイトタイムコンテンツや体験型商品の造成、市内アクティビティを集約した情報発信、道の駅くるくる　なるとを起点とした周遊促進、南あわじ市との広域ブランディング、観光関連事業者の連携支援に取り組む。

自転車施策では、令和９年度の完成を目指す大鳴門橋自転車道を好機と捉え、県と連携した周遊ルート、矢羽根やブルーライン整備、65か所のおもてなしスポット、レンタサイクル拠点の充実を進める。また、市民の通勤・通学や健康づくりにも資する自転車環境を整える。

要望 鳴門の文化資源を生かして周遊や滞在につなげていく可能性を検討し、地域経済の発展に結びつける、観光施策のさらなる取り組みを求める。

鳴門公園から見た大鳴門橋

会派
潮
藤田　茂男（ふじた　しげお）

動画はこちら

公共施設整備に伴う将来の財政負担

問 今後、更新時期を迎える全ての公共施設について、ライフサイクルコストの総額はどの程度を見込んでいるのか。また、その財源について、将来の税収規模との整合性をどのように評価しているのか。

答 鳴門市公共施設等総合管理計画において、令和４年度から令和38年度までの35年間の更新費用総額は、長寿命化などの対策を講じる場合に約１６４５億円、うち普通会計では約１０５２億円を見込んでいる。公共施設の更新などに充当可能な普通会計財源を約８７５億円と推計しているが、約１７７億円の財源不足が生じる可能性がある。

企業誘致の推進

問 成長産業の受け入れを前提とした戦略的な産業用地の確保について、今後どのように取り組むのか。

答 新たに産業団地を開発するのではなく、民有地の活用を基本として宅建協会と連携しながら所有者を訪問し、産業用地として候補地のリストアップを進めている。今後も新たな候補地の確保や条件整備を進め、県などとの連携を図りながら、成長産業関連企業の産業用地の確保に努める。

新スポーツ施設の建設場所について

問 現在の候補地であるボートレース鳴門西側敷地と旧衛生センター跡地を比較した場合のトータルコストについて、比較検討は行われているのか。

答 経済性や利便性、学校プールの集約化などを含めた多角的な観点から比較検討を行い、ボートレース鳴門西側敷地を選定した。

新スポーツ施設候補地の
ボートレース鳴門西側敷地

会派
公明党
前田（まえだ）ナツ子（なつこ）

動画はこちら

生命の安全教育の認識とネット利用リスク対策

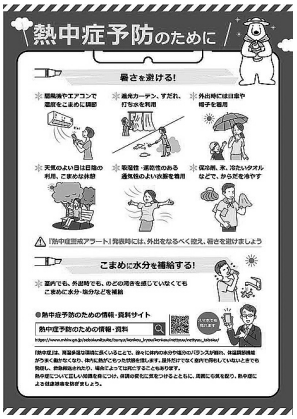
問 近年、若年層の性犯罪・性暴力被害が深刻化するなか、文部科学省が推進する「生命（いのち）の安全教育」に関する市の認識と取り組みについて伺う。また、インターネット・SNS利用の低年齢化によるトラブル増加を踏まえ、市の対策や教育、保護者への啓発の取り組みは。

答 「生命の安全教育」は学校教育において重要な役割を担うと認識し、発達段階に応じて保健や道徳、人権教育などで取り組んでいる。また、インターネット・SNSのトラブル対策について、出前授業や外部講師による学習、保護者への啓発を通じて情報モラル教育を推進している。

熱中症対策について

問 近年の猛暑は、災害と同様に危険であり、熱中症による緊急搬送が増加している。熱中症リスクの高まりを踏まえ市の熱中症対策の現状と、小中学校における冷水器の設置状況は。

答 毎年6月頃から、広報なるとや市公式Xなどで熱中症予防の情報発信を実施。今年度はクーリングシェルターを29箇所設置。学校の冷水器はPTAからの寄付などにより一部導入。今後の学校現場での対策について調査研究を行う。



「熱中症予防のために」
普及啓発リーフレット（厚生労働省）

糖尿病リスク予測ツール

問 全国的に増加傾向にある糖尿病の早期発見・重症化予防に向け、市の取り組みと糖尿病リスク予測ツール導入の考えは。

答 医療機関や民間団体と連携し、啓発や健康状態の見える化を推進している。糖尿病リスク予測ツールは自治体などが自由に利用可能であり、健康相談の場での活用や市公式ウェブサイトなどで周知する。

会派
鳴光会
三津（みつ）　良裕（よしひろ）

動画はこちら

南海フェリー事業撤退への対応

問 南海電鉄が徳島・和歌山間のフェリー事業から令和10年3月末をめどに撤退すると発表したことについて、鳴門市の対応は。

答 まずは、和歌山県、徳島県、和歌山市、徳島市で議論・整理されると認識しているが、広域交通の事案であるため、必要な情報収集を行い、動向を注視していく。

要望 南海フェリー航路の存続に向け、両県、両市の動向を注視するだけでなく、鳴門市からも積極的な提案など行政的な働きかけを行うことを要望する。

国土交通省策定の道路啓開計画

問 南海トラフ巨大地震などで救援ルートを確保する道路啓開計画を国土交通省などが策定しているが、鳴門市はどのような道路啓開計画を策定するのか。

答 独自の道路啓開計画は策定していないが、鳴門市地域防災計画に基づき、国や県、警察、消防、自衛隊および建設関係団体などと連携し、緊急輸送道路や防災拠点へのアクセス道路を最優先に確保する。

便利な交通手段の確保

問 徳島阿波おどり空港から鳴門市へ路線バスで向かう場合の利便性が高いダイヤへの改正要望は可能か。また、自家用車に代わる交通手段として、高齢者などの日常の買物や通院における交通手段の確保は。

答 航空便との接続に留意したダイヤ調節を要望し、利用者のニーズに添った交通ネットワークの構築を検討する。高齢者などの移動手段の確保については、令和8年度に移動ニーズに関する基礎調査を実施し、最適かつ持続可能な新たな運行モデルの構築を見据えた検討を進める。

徳島阿波おどり空港バス乗り場

個人質問

❶山根　巌

1. 教育行政について
(1) 夏季休業日の見直しについて
(2) 二学期制について
2. 環境行政について
(1) ごみの減量について

❷納田　盛資

1. 農業政策について
(1) 担い手の育成・確保について
(2) 農業の経営規模拡大について
(3) 耕作放棄地対策について
2. 特定外来生物対策について
(1) 現在の取り組み状況について
(2) 今後の被害拡大防止策について

❸黒島　宏美

1. 公共施設について
(1) こどもや高齢者などの地域の居場所について
2. 教育行政について
(1) 修学旅行の無償化事業について
3. 交通行政について
(1) ＪＲ鳴門線の利便性向上に向けた取り組みと利用促進について

❹笠原　将吾

1. 環境政策について
(1) 陸上風力発電について
2. 動物愛護について
(1) 犬猫の殺処分ゼロに向けた取り組みについて
3. 災害対策について
(1) ペットの同行避難について
(2) ペットの同伴避難について

❺東　正昇

1. 保育行政について
(1) 公立保育所の役割及び就学前教育について
(2) 旧公立保育所の現状と今後の利活用について
2. 人事行政について
(1) 退職者の年代別・役職別の状況分析と退職の背景と要因について
(2) 職場環境に対する体系的な調査について
(3) 人事行政及び職場環境における問題の有無について

❻八木　知子

1. 教育行政について
(1) 学力向上について
2. 交通安全の取り組みについて
(1) 交通安全教育とヘルメット着用促進について
3. 動物愛護の取り組みについて
(1) TNR活動における市の認定制度導入について

❼秋岡　大喜

1. なるとうずっ子学力向上パッケージ事業について
(1) 英語教育・英検受験料全額補助事業について
(2) 鳴門高等学校奨学金給付事業について
2. 豊かな人を育むまちづくりについて
(1) 鳴門市文化会館耐震改修及び管理運営事業について
(2) 鳴門市健康福祉交流センター改修事業について
3. シビックプライド（地域愛）の醸成について
(1) 子どもの市内企業おしごと体験事業について
(2) インナープロモーション推進事業「0→1SCHOOL」事業について
(3) 鳴門市阿波おどり事業の運営・PRについて

❽山下　敬子

1. 健康福祉行政について
(1) 予防医療に対する本市の取り組みについて
2. 有害鳥獣対策について
(1) 猟友会の有害鳥獣駆除員の処遇改善について

❾上田　公司

1. まちづくりについて
(1) 都市計画マスタープランについて
(2) まちづくりデザイン会議について
2. 環境政策について
(1) 陸上風力発電について

❿森江　大蔵

1. 農業・漁業政策について
(1) 農業用用排水路のしゅんせつについて
(2) 農業・漁業支援策について
2. 廃棄物処理行政について
(1) 広域化と民間の資本を取り入れるべき
3. 外国人政策について
(1) 外国人の生活保護受給について

⓫潮崎　憲司

1. まちづくりについて
(1) 鳴門駅周辺整備について

山根（やまね）　巌（いわお）
（なると未来）

動画はこちら

夏季休業日の見直し

問 子ども達の通学時の暑さ対策や、教員の子ども達と向き合いたいという時間を確保し心にゆとりをもって働ける場所にするために小・中学校の夏季休業日を８月31日までに戻す考えは。

答 地球温暖化に伴う酷暑の影響や児童・生徒の登下校時の安全確保、教員の働き方改革などの課題を踏まえ保護者や学校現場の意見を勘案しながら今後慎重に検討する。

幼稚園・小・中学校の２学期制

問 ２学期制について保護者を対象としたアンケート調査の実施は。

答 本市では平成17年度から幼稚園、小・中学校において２学期制を導入している。

今後については夏季休業日のあり方と併せ、２学期制導入時の目的やこれまでの経緯を踏まえ関係者の意見を伺うことが必要であり、必要に応じてアンケート調査の実施も含め検討する。

ごみの減量について

問 令和７年度に実施したクリーンセンターの大規模改修工事中に県外の業者に排出したごみの量とその費用について。また、その期間に市民の皆さんにご協力いただいたごみ減量の成果と、令和８年度に予定する大規模改修工事の取り組みは。

答 県外搬出した廃棄物の量は約１２８４トン、その費用は約７５１４万円となる見込み。ごみ減量の成果については、市広報紙などで、ごみ減量の協力をお願いしたが、総量としては増加した。

今年度に行う大規模改修工事においては、ＳＮＳや学校、地域団体などを活用し、ごみ減量の情報としてすぐ実践可能なごみ減量の具体例や効果など丁寧な周知に努める。

大規模改修工事中のクリーンセンター

納田（のうだ） 盛資（せいじ）
（なると未来）

動画はこちら

担い手の育成・確保

問 市では、農業を取り巻く環境の厳しさや担い手の高齢化などから、後継者不足が深刻化している。新規就農希望者の支援策、市外からの農業参入についてどのように考えるか。

答 新規就農希望者に対して、認定取得や資金面での支援をしており、今後は相談体制の強化や市公式ウェブサイトでの情報提供の強化に努め、定着支援を進める。市外からの農業参入についても、移住支援や企業参入支援を通じ地域農業の持続発展に取り組む。

農業の経営規模拡大

問 市では、経営規模の小さい農家が多く、今後は農地集約・法人化が必要であると考えるが、経営規模拡大や、その際の農地の需要と供給のマッチング支援をどのように進めるのか。

答 規模拡大の支援策として、農業用機械導入や施設整備などへの補助のほか、資金融資などの支援策について相談支援を行っている。さらに、法人化に向けては、手続きや経営相談を行い、地域計画の見直し時に地域の担い手が受け手となるようマッチングに努める。

耕作放棄地対策

問 耕作放棄地となる原因は地域ごとに異なる。それぞれの地域でどのような対策を進めるのか。

答 優良農地が多い地域は、担い手が見つかるようマッチングに努め、耕作放棄地の発生予防に取り組む。担い手が少ない地区は、市外の生産者・農業法人にも情報提供を行い、農地の受け手確保に努めるとともに、有害鳥獣対策など、生産者が継続的に営農できるよう支援する。また、耕作の継続が困難な農地については、粗放的な管理など、農地利用以外の保全方法についても研究する。

黒島（くろしま） 宏美（ひろみ）
（なると未来）

動画はこちら

ＪＲ鳴門線の利便性向上に向けた取り組みと利用促進

問 地域の重要な公共交通であるＪＲ鳴門線の利用促進を図るため、交通結節点や駅の利用環境の整備について、市はどのような取り組みを行っているのか。

答 鳴門駅前バス停を統合し、ＪＲと路線バスの乗り継ぎの円滑化や、安全な歩行動線の確保を図った。併せて、道の駅くるくる なるとへの路線バス乗り入れなど、公共交通ネットワークの構築に努めている。撫養駅では、通学利用者の増加を見据え、約３００台分の駐輪場を整備した。今後は、高速鳴門バス停など交通結節点の環境整備を進めるほか、公共交通のあり方をより多角的に検討するため、公共交通の利用者や交通事業者へのアンケート調査やヒアリングを実施する予定である。

池谷駅のトイレや駐輪場の整備については、ＪＲ四国との協議が必要であり、整備の必要性や維持管理に係る費用負担などの課題を踏まえ、慎重に対応する。

要望 撫養駅では、整備済みの駐輪場の利用実態を確認し、駐輪ルールやマナーの周知、管理方法の検討を求める。また、高徳線との乗換駅であり、通勤・通学に加え観光でも利用される池谷駅については、トイレの整備をはじめとした利用環境の充実に向け、ＪＲ四国への働きかけを求める。さらに、観光やイベント、サイクルツーリズムと連携した利用促進策を展開し、ＪＲ鳴門線の維持・活性化につなげていただきたい。

平成26年に整備されたJR撫養駅駐輪場

笠原　将吾（かさはら　しょうご）

動画はこちら

北灘町陸上風力発電事業

問 北灘町および大麻町で計画されている陸上風力発電事業について、その後の市の対応と現在の状況は。

答 市長が事業者と面談し、地域が反対している以上、市は反対であると申し入れた。今後も地域に寄り添い、不安解消が図られるよう、情報共有などの連携に努める。

要望 豊かな自然環境は一度失われると元に戻らない。市民の不安の声に寄り添い、住民理解を最優先に対応していただくことを強く要望する。

命に優しいまちづくりを目指して

問 市が取り組んでいる現在の動物愛護および動物福祉施策の内容と成果、また、今後の啓発活動について。

答 不妊去勢手術費助成や動物愛護フェアの開催、関係団体との連携などを行っており、県やボランティア団体などとの連携を一層強化しながら、普及啓発活動を継続し、市民の皆様の意識向上を求めていく。

要望 動物への優しさは、人への優しさにつながる。行政・民間・市民が連携し、鳴門市が「世界でいちばん優しいまち」となることを要望する。

災害時のペット同行避難

問 災害時におけるペット同行避難の位置づけと受け入れ体制、今後の周知啓発について。

答 地域防災計画に基づき、ペット同行避難に関する体制整備を進めており、避難所での受け入れ場所の確保や飼い主が果たすべき責任について周知啓発を進めていく。

要望 避難が遅れることを防ぐためにも、平時からの周知や準備・避難訓練などが重要である。専門家や関係団体とも連携し、人にも動物にも優しい避難体制の構築を要望する。

東　正昇（あずま　まさのり）
（潮）

動画はこちら

保育行政について

問 市公立保育所の役割と位置付けおよび就学前教育のあり方と方向性は。

　また、旧公立保育所施設を地域にとって貴重な公共資源として、どのように利活用していくのか。

答 公私立に関わらず就学前から小学校への円滑な接続のため、令和３年３月に市独自の就学前教育・保育モデルカリキュラムを策定した。

　旧公立保育所施設は、安全面も考慮し、貸出しを行っていない。旧中央保育所は解体する予定であり、他施設についても、市公共施設個別施設計画に基づき、総合的に判断する。

要望 公立保育所が本市の就学前教育の中核として専門性を高め、民間施設との連携を通じて市全体の保育の質の向上を牽引する役割を期待する。

　また、旧保育所施設は地域の実情や住民ニーズを踏まえ、有効活用を進めるよう要望する。

人事行政について

問 若手職員の退職が継続的に発生している現状を踏まえ、その要因分析と職場環境改善への取り組みについて問う。

答 早期退職の背景には、若い世代が求める働き方や仕事に対する価値観の多様化など様々な要素が関係しているものと認識している。

　職員の声を把握しながら、人材の確保、育成、定着につながる人事行政と働きやすい職場環境づくりの取り組みに努める。

要望 職員が安心して働き続けることができる、職場環境づくりを進めることを求める。

鳴門市公立保育所

八木（やぎ） 知子（ともこ）
（なると未来）

動画はこちら

教育行政について

問 新しいＧＩＧＡスクール端末の改善点や現場の教職員、児童・生徒の評価は。

　また、学力向上アドバイザーについて、学校現場のニーズを踏まえた体制充実や増員についての考えは。

答 今回の端末更新にあたり通信環境や起動スピードが改善され、スムーズな動作が実現できている。学校現場からも、起動が速くスムーズに授業を開始できる、軽くて持ち運びに便利といった声が上がっており、優れた操作性と利便性が好評である。

　学力向上アドバイザーについては、学校現場を取り巻く課題が複雑化、多様化するなか、若手教員の割合が増加しており、児童・生徒一人ひとりに応じた、きめ細かな指導の必要性など、学力向上推進アドバイザーの果たす割合は非常に重要である。学校現場からも高い評価を得ており、学校現場ニーズの把握やアドバイザーに適した人材の確保に努める。

交通安全の取り組み

問 高校生のヘルメット着用率が低い。高校生世代の実情や感覚に寄り添ったヘルメット着用促進策を検討していく考えは。

答 全国各地で若い世代に寄り添った新しい取り組みが行われており、本市でも先進事例を参考に、新たな取り組みについて関係機関と連携しながら調査研究していく。

動物愛護の取り組み

問 ＴＮＲ活動に安心して取り組めるよう鳴門市独自の認定制度などを導入する考えは。

答 ＴＮＲ活動に取り組む団体や個人が安心して取り組めるよう、今年度を目途に県内初となる認定制度や身分証明の交付制度の導入について準備を進める。今後も関係団体やボランティアの皆様と連携しつつ、動物愛護の推進に取り組んでいく。

秋岡（あきおか） 大喜（ひろき）
（創心クラブ）

動画はこちら

先進的英会話学習から国際交流都市を創造

問 外国人講師と１対１で実施しているオンライン英会話導入事業のカリキュラムや評価は。

答 オンライン英会話導入事業は、中学２年生を対象に毎月１回授業中に行うものであり、教科書に沿った内容や日常会話など、教員が指導目的に合わせて選択できる仕組みである。また、現場の教員や生徒からはおおむね好評で、今後も継続してほしいとの声を受けている。さらに、他市町村からの関心も高く、多くの視察の依頼を受けている。

要望 当事業の永続的な実行が可能な財政運営と、大阪府泉南市のように同世代とのオンライン英会話の実施と生成ＡＩ（人工知能）アプリを活用した授業の効率化、教員の負担軽減などを提案。また、まちなかに語学学校を誘致するなど国際交流の場、にぎわいの創出を願う。

若者のシビックプライド（地域愛）を育む

問 令和７年度に始まったインナープロモーション「０→１ＳＣＨＯＯＬ」事業の実績と令和８年度の事業内容およびスケジュールは。

答 令和７年度は、鳴門で活躍する大人をテーマに中高生14人が５本のドキュメンタリー映画を制作し、上映会を行った。令和８年度は若者の意見を踏まえ、作曲やバンド活動に関する音楽制作ワークショップなどを実施しており、およそ50人が集い、地域で活躍する大人とのつながりを実感できる実践型の学びに努めている。完成した楽曲は、音楽配信サイトや９月21日にボートレース鳴門で開催のライブイベント「鳴門ＪＡＺＺ」での公開なども予定している。

山下（やました） 敬子（よしこ）
（公明党）

動画はこちら

予防医療に対する取り組み

問 予防医療の推進と高齢者の肺炎予防・ＲＳウイルス感染症対策は。

答 予防医療は疾病の発症予防を目的とし、健康を守るだけでなく医療費の抑制にもつながる重要な施策である。市では、健康診査や各種がん検診、予防接種に加え、令和８年度から健康コンディショニング事業として、がん検診の個別案内や歯科健診の対象者拡大など、若い世代からの検診受診の習慣化などの促進に取り組んでいる。

また、高齢者などを対象にインフルエンザ、新型コロナウイルス、肺炎球菌の予防接種の公費助成を実施するとともに、乳児へのＲＳウイルス感染予防薬の全額助成やＲＳ母子免疫ワクチン接種も進めている。高齢者向けＲＳウイルス感染症ワクチン接種の助成事業については、国の定期接種化に向けた議論や疫学情報の動向を注視していく。

有害鳥獣対策

問 有害鳥獣駆除員の処遇改善に向けた、報償費の見直しや安全対策、人材育成について。

答 市では、国の交付金を活用し、イノシシ・鹿は１頭７０００円、猿は１頭８０００円の捕獲報奨金を交付するとともに、鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会へ各班年間30万円ずつ、合計90万円の活動費を支給している。報奨金の増額については、猟友会の意見も踏まえ検討していく。現在、駆除員は38名だが、実際の活動は退職者が中心となっている。安全対策として研修会の受講、安全保障については、保険料助成を実施し、今後も県や猟友会と連携しながら、新規加入者の確保や後継者育成を進め、持続可能な駆除体制の整備に努める。

上田（うえだ） 公司（こうじ）

動画はこちら

まちづくりについて

問 新スポーツ施設建設について、まちづくりデザイン会議の委員から「まちの話と完全に切り離されているのはおかしい」と言われているが場所ありきであり、鳴門駅移転も根拠となる現状の駅周辺整備案と移転案の比較データも示さず移転ありき。明らかにボートレース収益に依存した予定調和で、将来に多大な負担となるのは目に見えている。比較データや費用対効果を改めて示すとともに、パブリックコメントをやり直すべきでは。

答 パブリックコメントは基本計画の検討に移るのに先立ち、理念について実施したもので、事業費などは未定のため示していない。今後、検討を進める基本計画において、概算事業費や財源構成などを示す予定である。また、まちのコアのあり方を見直す方向性に期待が示されており、パブリックコメントをやり直す必要があるとは考えていない。

陸上風力発電

問 地元が白紙撤回を求めている以上、市として物理的なストッパー役を果たすためにも、事業者から提出される準備書を待たず、早急に国や県に計画中止の意思を伝える必要がある。また、事業者が今後の許可申請や問合せを行ってきた場合、地元の合意がない以上、許可や同意は一切与えないという姿勢を明示すべきだと思うが。

答 市は、地域の意向を最大限尊重する方針だが、法的に不備などがない場合、特定の事業に対し一律に不許可・不同意とすることは法制度上困難である。環境アセスメント手続きに基づき、事業者提出の準備書を精査したのち、県知事へ意見を述べる。

谷通りエリアの特性を生かしたまちづくり

森江（もりえ） 大蔵（だいぞう）
（新・令和なると）

動画はこちら

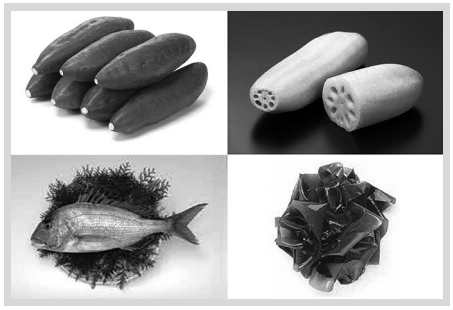
農業・漁業支援政策

問 農業用用排水路のしゅんせつの進捗状況は。

また、レンコンなどの価格下落や資材・燃料費高騰に苦しむ農業者、漁業者への支援、学校給食での鳴門産食材活用拡大を進める考えは。

答 各地区と優先箇所を共有し、県の補助事業や市単独事業を活用してしゅんせつを進める。しゅんせつ土砂の仮置場は大津町大代の市有地を利用する。

農業者・漁業者の厳しい経営状況を踏まえ、資材・燃料費高騰への支援を行い、学校給食でも地元産食材の利用に努める。



廃棄物処理行政

問 老朽化するクリーンセンターについて、休炉時の場外搬出費も高額であり、従来の延長では限界がある。広域化に加え、第三セクター方式や官民連携方式を活用した新たな処理体制を検討すべきではないか。

答 第三セクター方式は民間事業者の資金や人材、ノウハウを活用できる一方で、責任の所在やリスク分担など課題もある。現施設の維持管理を行いつつ、広域化を含め適切な時期に議論を始め、事例研究を進める。

外国人生活保護受給問題

問 外国人の生活保護について、在留資格制度との整合性を図り、市民の税負担で支える制度の公平性と信頼性を守るため、在留資格確認、県への報告、出入国在留管理局との連携を適正に行うべきではないか。

答 市の外国人住民は令和7年1月1日時点で655人、そのうち生活保護受給者は3世帯3名。申請時に在留資格などを確認し、県へ報告する。法令に基づく照会は定められた範囲内で行い、適切な運用に努める。

潮崎（しおざき） 憲司（けんじ）
（鳴光会）

動画はこちら

鳴門駅周辺整備

問 鳴門駅移転の基準や最終的な判断の主体は。

答 鳴門駅移転案の判断主体は市にあり、将来性や可能性を十分に検討し、整理したうえで、費用対効果など総合的に勘案し判断する。また、判断過程や根拠などは市民や議会へ公表し、透明性の確保に努める。

要望 事業に伴う費用や課題も含めた客観的なデータを市民に分かりやすく示すことを要望する。

まちの将来像

問 市として目指すまちの将来像は。

答 鳴門駅前を通過する場所から立ち寄り過ごし、まちなかへ歩き出す場所へ転換し、にぎわいや交流が生まれるよう描いたビジョンを実現できるか総合的に判断していく。

要望 市全体の将来像を市民に分かりやすく示すよう要望する。

市全体の活性化

問 鳴門駅前整備の経済波及効果は。

答 鳴門駅周辺を起点に人がまちなかに入り滞在し、交流する大きな流れをつくることを一つの目的とするため、成果指標を設定し、効果を検証しながら事業を進める。

要望 鳴門駅周辺だけでなく、市内全域にどのような効果を波及させ、どのような将来像の実現につながるのか、分かりやすく示すことを要望する。

にぎわい創出の起点となるJR鳴門駅

議員表彰

第102回全国市議会議長会定期総会において、３名の議員が特別表彰を受賞されました。

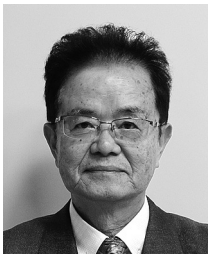
また、第88回四国市議会議長会定期総会において、４名の議員が特別表彰を、３名の議員と１名の前議員が一般表彰を受賞されました。

〈議席順〉

【全国･特別表彰】〈35年以上在職議員〉

藤田（ふじた） 茂男（しげお） 議員

【全国・四国・特別表彰】〈20年以上在職議員〉



東（あずま） 正昇（まさのり） 議員

宅川（たくかわ） 靖次（やすじ） 議員

【四国・特別表彰】〈16年以上在職議員〉

上田（うえだ） 公司（こうじ） 議員

山根（やまね） 巌（いわお） 議員

【四国・一般表彰】〈８年以上在職議員〉

潮崎（しおざき） 憲司（けんじ） 議員

長濱（ながはま） 賢一（けんいち） 副議長

高麗（こうらい） 裕之（ひろゆき） 議長

叶井（かない） 克典（かつのり） 前議員

《令和８年第２回臨時会の提出議案と議決結果》

議案番号	案　　件	議決結果	所管の委員会
議案第52号	財産の取得について	原案可決	総務文教
報告第12号	専決処分について（損害賠償の額の決定）	報　　告	生活福祉

《総務文教委員会》

●議案第52号　財産の取得について

耐用年数を経過したパーソナルコンピュータおよびレーザープリンタを更新するため機器を購入するにあたり、地方自治法第96条第１項第８号および鳴門市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第３条の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

【質疑】本議案をこの時期に上程したことについて。

【回答】半導体不足などの影響による価格上昇対応のための台数調整などに時間を要した。また、９月議会での上程ではさらなる価格上昇の可能性があり、今回のタイミングとなった。

市議会と高校生の交流企画

～ 鳴門高校生による表紙制作 ～

ポロシャツ（夏用制服）導入に向けた話し合いの様子

〈鳴門高校生徒会執行部の皆さん〉

生徒総会でのボトムアップ提案

「夏の暑さ対策」という課題

近年の夏期の気温上昇を受け、生徒から「従来の制服に代わる、涼しく動きやすいポロシャツを夏用制服として導入したい」という切実な要望が生徒総会にて提案されました。

主権者教育としての素晴らしい機会

ルールや環境を「ただ受け入れる」のではなく、民主的なステップを通じて「自ら望む環境を勝ち取る・創り出す」プロセスそのものが、生きた主権者教育の機会となりました。

民主的な決定への３つのアプローチ

1 生徒会による意見集約

全校生徒の思いを形に変えるため、導入に対する賛否だけでなく、色合いや素材への要望を徹底的にヒアリングしました。

2 メーカー協働試作

地元の衣服メーカーとも連携しながら、学校のアイデンティティを保ちつつ動きやすいデザインの試作品を制作しました。

3 文化祭での住民投票型選挙

生徒・保護者が投票権を持つ「模擬選挙」を模した投票イベントを文化祭で実施し、納得感の高い意思決定を目指します。

提案から導入までのロードマップ

5月：生徒総会
生徒会から夏用のポロシャツ制服導入の提案決議。

6－7月：試作検討
意向調査を元に、メーカーと協働して試作・校内広報。

9月：文化祭(投票)
生徒・保護者・地域住民による投票を実施。

10月：承認申請
投票数をもとに職員会議、ＰＴＡへの最終報告、生徒総会での承認。

生徒達の得た確信

「ルールは自分たちで変えられる。私たちの投げかけた一票が、次の夏の鳴門高校をつくる第一歩になる。」

－ プロジェクトリーダー　生徒会長　喜来 裕弥 －

令和８年第３回定例会の予定（９月２日～10月２日）

日	月	火	水	木	金	土
８月30日	31	９月１日	2 本会議／開会 予算決算委員会	3 一般質問 通告締切	4	5
6	7 一般質問（代表）	8 一般質問（個人）	9 一般質問（個人）	10	11 総務文教委員会	12
13	14 生活福祉委員会	15 産業建設委員会	16 予算決算委員会	17	18	19
20	21	22	23	24 議会運営委員会 全員協議会 議会運営委員会	25	26
27	28 本会議 予算決算委員会 全員協議会	29	30 本会議 特別委員会	10月１日 全員協議会 議会運営委員会	2 本会議／閉会	3
4	5	6	7 予算決算委員会	8 予算決算委員会	9 予算決算委員会	10

■（赤字）はケーブルテレビ中継とインターネット中継、■（緑字）はインターネット中継を行います

ご　意　見　箱

～議会活動に関するご意見を募集しています～

鳴門市議会では、市民の皆様からの議会活動に関する幅広いご意見をいただくため、「鳴門市議会　ご意見箱」を設置しています。

【提出方法】

次のいずれかの方法でご提出ください。

①鳴門市議会公式ウェブサイトの「鳴門市議会　ご意見箱」ページから「入力フォーム」に必要事項をご入力の上、送信。

②鳴門市役所　本庁舎１階　総合案内付近に設置しているご意見箱に投函。

※ご意見に対する回答はいたしませんが、個人情報に配慮の上、鳴門市議会公式ウェブサイトなどで紹介させていただく場合があります。個人に対する誹謗・中傷などは、お断りいたします。

もっと議会を知りたい

【議会を動画配信で見よう】

本会議と委員会の模様は、インターネット中継と録画配信（過去４年間の映像）でご覧いただけます。

また、本会議の模様は、テレビ鳴門でも生放送に加え、録画放送を行っています。

【会議録をウェブサイトで見よう】

①「鳴門市議会」を検索。

②鳴門市議会公式ウェブサイト内の「会議録検索システム」からご覧になりたい会議録を検索。

《傍聴にお越しください》

令和８年第３回定例会は上記の日程で開催予定です。

本会議、各常任委員会は原則午前10時に開会します。ぜひ、傍聴にお越しください。

【受付】市役所本庁舎４階　議会事務局（西側エレベーターをご利用ください）

※当日、受付にて氏名、住所をご記入ください。傍聴券をお渡しします。

《議会広報委員会》

委 員 長：秋岡　大喜
副委員長：山下　敬子
委　　員：八木　知子・東　正昇・上田　公司
森江　大蔵・黒島　宏美・納田　盛資
三津　良裕

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しています。

編集後記

議会情報を【より見やすく・確実に】市民の皆様にお届けできるよう他行政の先進事例を学ぶセミナーを受講するなど、日々研鑽に努めております。より良い広報活動のため「ご意見箱」を活用して、ご要望などいただけましたら、幸いです。　（委員長：秋岡　大喜）